

取扱説明書

STE-102C

コアキシャル・2ウェイ・カスタムスピーカー

68-10872Z67-A
Printed in China (Y-703)

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、
同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因
になります。



音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用
を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因に
なります。



車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでく
ださい。事故・火災の原因になります。



コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速
レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。
断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原
因になります。



水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。
火災・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してく
ださい。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



充実したサポートとサービスのために是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、
アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！
https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
（一部回線でつながらない場合があります。）
＜携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用＞
TEL：048-662-6636
- 電話受付時間 9：30～12：00、13：00～17：30
（土日、祝日、弊社休業日を除く）
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめ
します。
FAX：048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき………ます、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき…お買い上げ店、またはインフォメーションセンターにご相談ください。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店または下記の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

(SP)	(平成21年1月1日現在)	
お問い合わせ窓口		
●製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。 ●ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。		
製品ご相談窓口		
お問い合わせはインフォメーションセンターへ		
●インフォメーションセンター ＜一般回線ご利用のお客様用＞ TEL：0570-006636 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。 （一部回線でつながらない場合があります。） ＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用＞ TEL：048-662-6636		●電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30 （土日、祝日、弊社休業日を除く） ●電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。 FAX：048-662-6676 ●アルパイン ホームページ http://www.alpine.co.jp

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道工リア	札幌オフィス 011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北工リア	仙台オフィス 022-239-5331 盛岡オフィス 024-925-3811	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東 3-3-3 〒963-8051 福島県郡山市富久山町1山田字土布池 11 番 5 号	宮城県 / 山形県 / 秋田県 / 青森県 / 岩手県 福島県
北関東工リア	北関東オフィス 048-664-7701 松本オフィス 0263-26-0783 新潟オフィス 025-385-1360	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区富原町 2丁目7番2号 〒390-0847 長野県松本市信部 1丁目3番7号オフィス GB205 号 〒950-0208 新潟県新潟市江南区機械中央 1丁目9番17号 103 号室	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東工リア	東関東オフィス 03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東工リア	南関東オフィス 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都東部 / 神奈川県 / 静岡県 (大井川以南)
中部圏工リア	中部オフィス 052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中南区猿子石 3丁目108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県 (大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏工リア	大阪オフィス 06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中国圏工リア	広島オフィス 082-846-1175	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本 4丁目6番5号	広島県 / 岡山県 / 山口県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県 / 岡山県 / 愛媛県
九州工リア	福岡オフィス 092-627-4111	〒812-0853 福岡県福岡市博多区東平尾 2丁目2番48号	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 長崎県 / 沖縄県
アルパイン京都販売 (株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上田町八島町 88-2	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売 (株)	079-293-3554	〒670-0976 兵庫県姫路市巾地 41-3 2F	兵庫県
マークエンタープライズ (株)	088-884-6800	〒781-8122 高知県高知市高須新町 3丁目10番6号	高知県

使用上のご注意

注意 大音量で鳴らすとスピーカーが破損する場合があります。
車外の音が聞こえる音量でご使用ください。事故・故障または、聴力障害の
原因になります。

規格

瞬間最大入力	100W
定格入力	20W
再生周波数帯域	50Hz～48kHz
出力音圧レベル	91dB/W・m
インピーダンス	4Ω
重量 (スピーカー単体)	0.55kg

はじめに

ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。

- 接続は、車の電装系が理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与
える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 希望する取り付け位置に対してコードの長さが十分であることを確認してください。
- 不明な点はお買い上げ店または、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本説明書の取り付け情報は、平成 20 年 12 月現在の調査に基づく内容です。
- 取り付け作業を行う時は、取り付けるスピーカーのフレーム内部に、作業時に発生するクズやゴミが入ら
ないようにご注意ください。故障や異常などの原因になる場合があります。
- ドアや後席側面は雨水が回りこむ場合がありますので、必ず付属のクッションを本説明書にしたがって取
り付けてください。また、車種により防水対策が必要な場合があります。お車に合わせ万全な防水対策を
行ってください。

裏面に掲載されていないクルマの取付け情報に関しましては
アルパインホームページ「車種別取付け情報」をご覧ください。

www.alpine.co.jp

1. 準備する

- 1 構成部品を確認する。
構成部品一覧を確認してください。

- 2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

2. 取り付ける

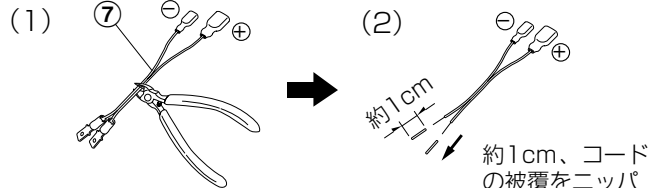
- 1 ドアパネルまたはスピーカーグリルを外す。
代表車種の例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

- 2 純正スピーカーを外す。
代表車種の例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

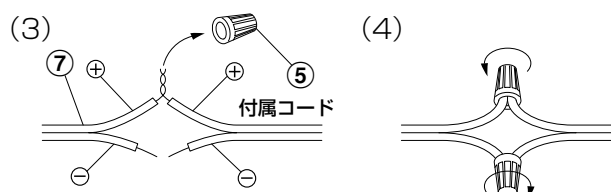
- 純正スピーカーのネジ止めにグロメットを使用している場合
アルパイン製スピーカーの取り付けに純正グロメットが不要な車種の場合は、純正グロ
メットを取り外す必要があります。

- 3 スピーカー線を接続する。
付属の変換コードまたはジョイントキャップを使用し接続します。

- ジョイントキャップの使用
付属の変換コードが合わない場合はジョイントキャップをご使用ください。
車両側のコネクターの極性を切断前にお確かめください。



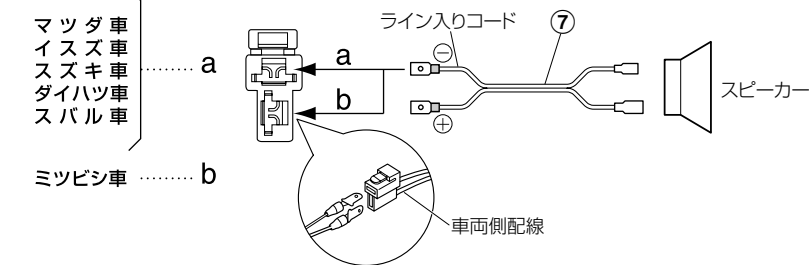
平端子(オス)側をカットします。
(車両側のコネクターも同様)



付属コードと車両側コード
を図のようによります。

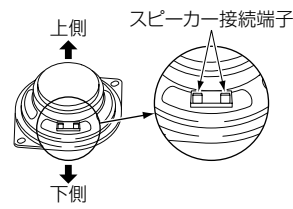
ジョイントキャップをかぶせ、
図の方向にねじります。

- 車両側コネクター「T 型タイプ」時の注意 (平端子の極性)



- 4 スピーカーを取り付ける。
代表車種の例が記載してありますので、裏面をご覧ください。

- スピーカー取り付けの注意
スピーカーをドアに取り付ける場合は、スピーカー
端子が下側になるように取り付けてください。ま
た、車両鉄板部に干渉しないように取り付けて
ください。



3. 確認する

- 1 不自然な当たりがないことを確認する。
特にスピーカーの端子が当たっていないかを確認してください。

- 2 コード類を固定する。
突起部に当てたり、窓ガラスやドアの開閉時にコードを傷めないように注意してくだ
さい。

- 3 イグニッションキー／カーオーディオ電源を ON にして、本機から音が出ることを
確認する。

- 4 ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作すること
を確認する。

トヨタ

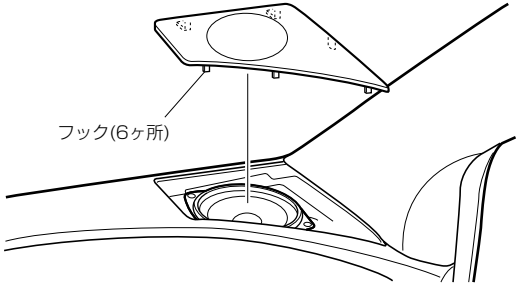
バッソ（H16/6～現在）への取り付け方法

ダイハツ

ブーン（H16/6～現在）への取り付け方法

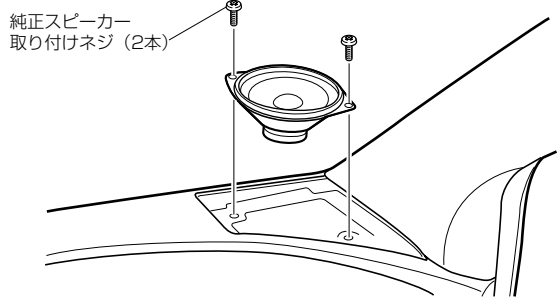
1

スピーカーグリルを外します。



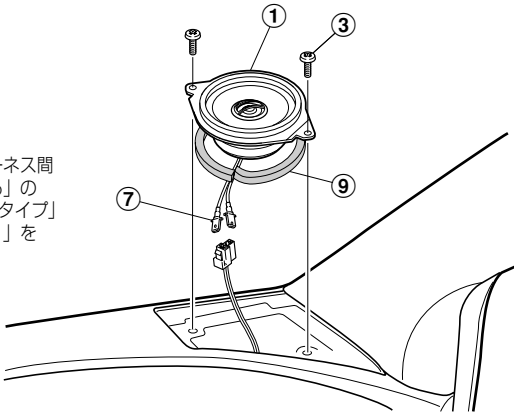
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



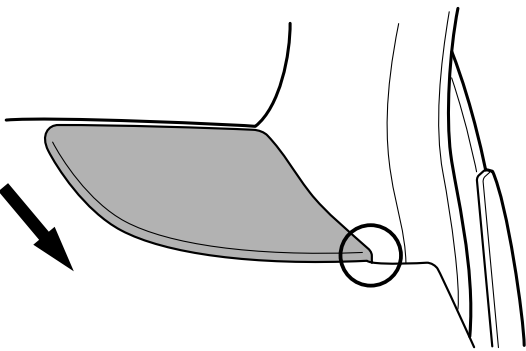
※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

トヨタ

ヴィッツ(H11/1～H17/1)への取り付け方法

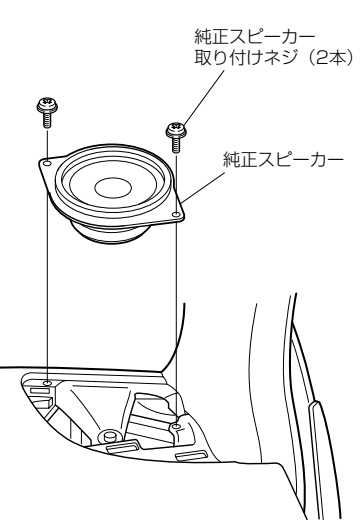
1

スピーカーグリルを外します。



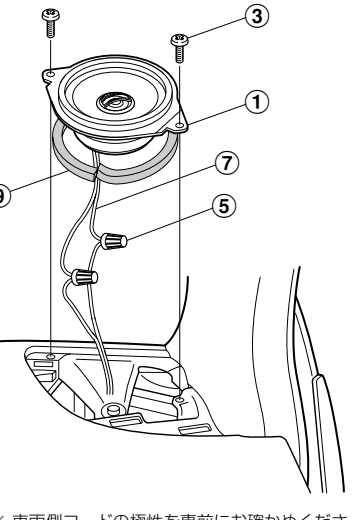
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

※ご使用のオーディオが、スピーカーインピーダンス4Ω 対応でない場合は、オーディオも交換してください。

※車両側コードの極性を事前にお確かめください。詳しくは表面の「ジョイントキャップの使用法」を参照してください。

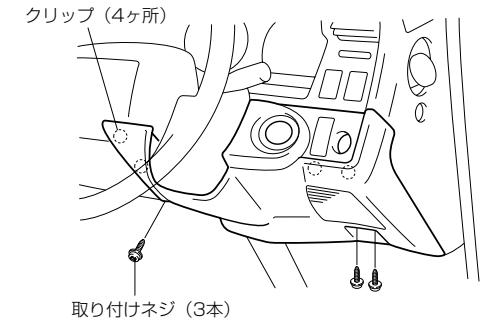
トヨタ

ハイエース(S57/12～H5/8)への取り付け方法

1

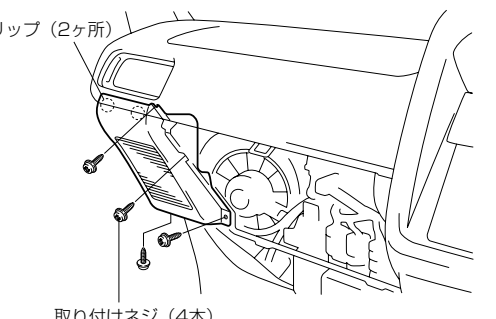
ダッシュパネルを外します。

右スピーカー



2

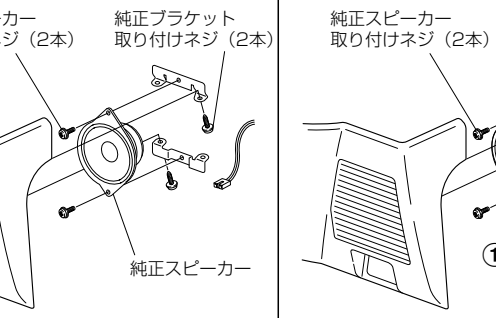
純正スピーカーを外します。



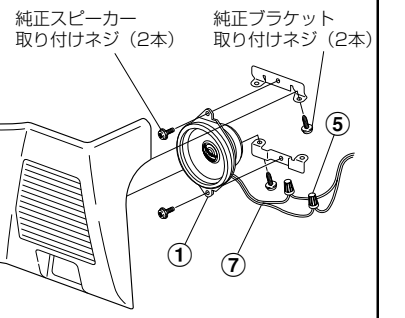
3

本スピーカーを取り付け、ダッシュパネルを元に戻します。

左スピーカー



右スピーカー



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

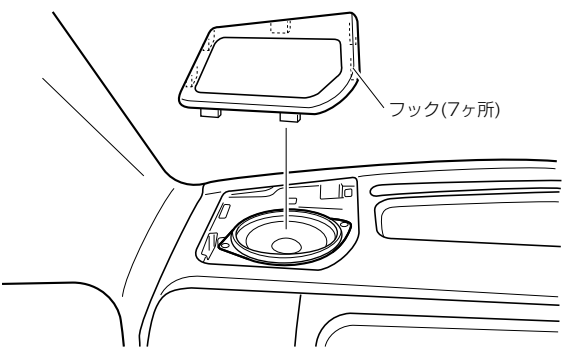
※車両側コードの極性を事前にお確かめください。詳しくは表面の「ジョイントキャップの使用法」を参照してください。

スズキ

Kei（H10/10～現在）への取り付け方法

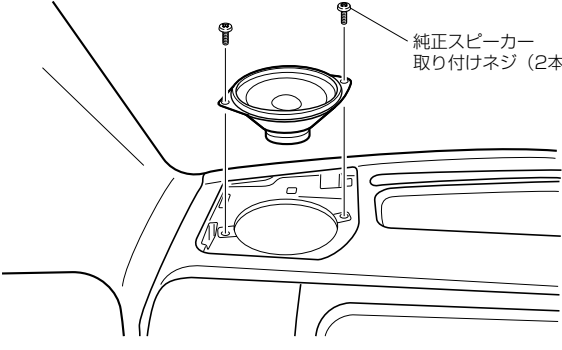
1

スピーカーグリルを外します。



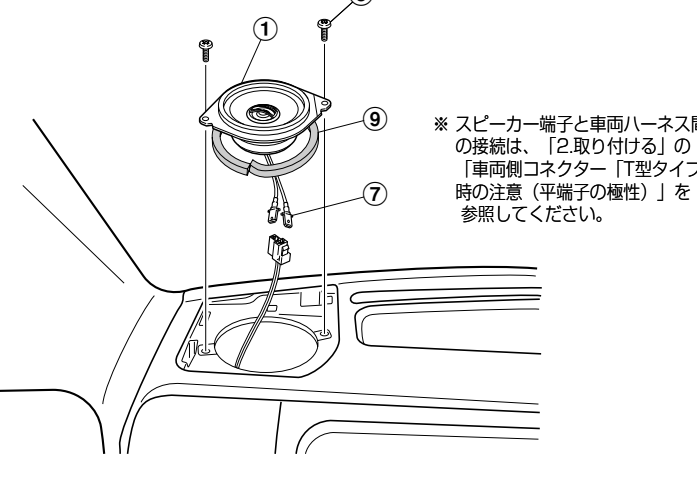
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



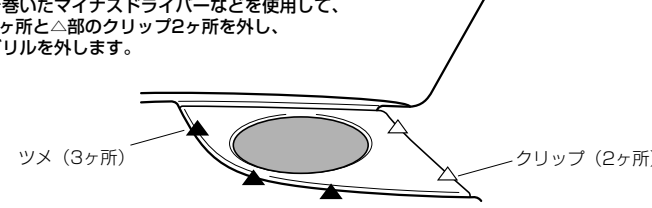
※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

スズキ

アルト(H10/10～H16/9)への取り付け方法

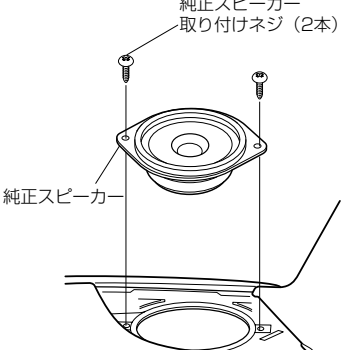
1

スピーカーグリルを外します。



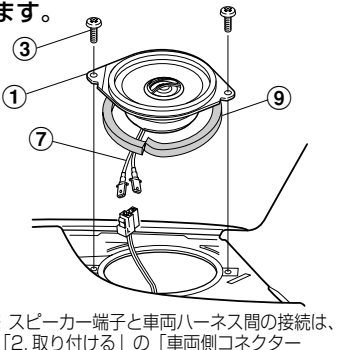
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

スズキ

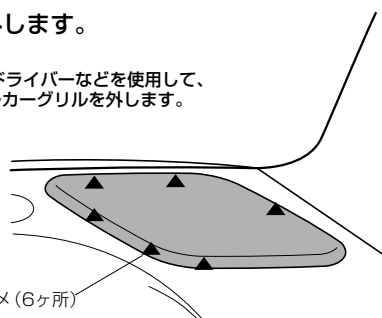
ワゴン R(H10/10～H15/9)への取り付け方法

マツダ

AZ-ワゴン(H10/10～H15/10)への取り付け方法

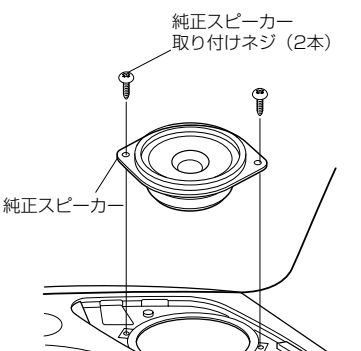
1

スピーカーグリルを外します。



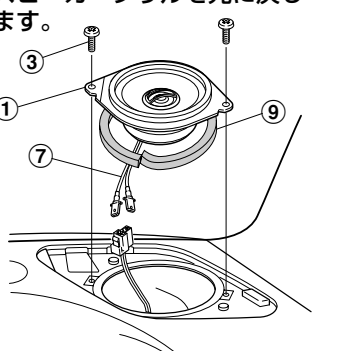
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

スバル

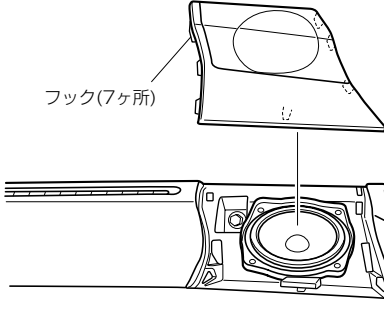
ステラ(H18/6～現在)への取り付け方法

R2（H15/12～現在）への取り付け方法

R1（H17/1～現在）への取り付け方法

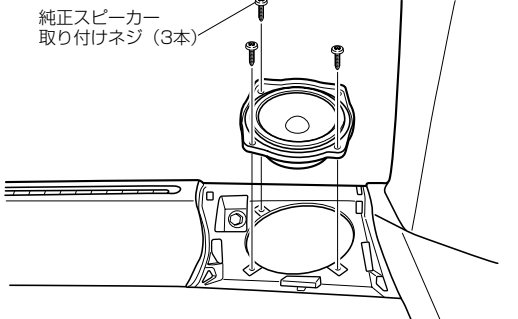
1

スピーカーグリルを外します。



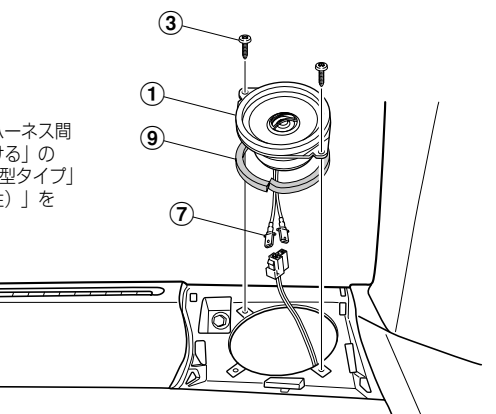
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



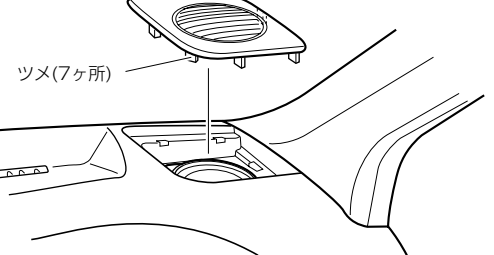
※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

ホンダ

ライフ(H10/10～H15/9)への取り付け方法

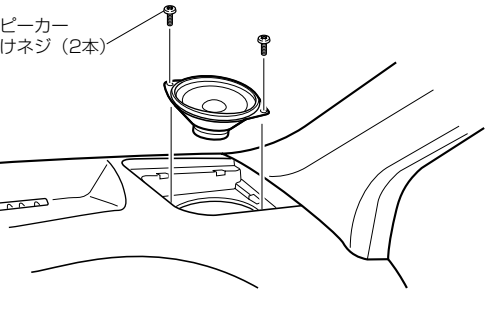
1

スピーカーグリルを外します。



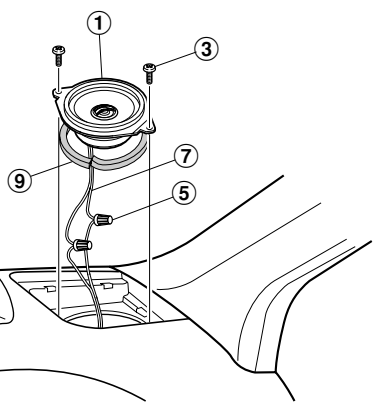
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

※車両側コードの極性を事前にお確かめください。詳しくは表面の「ジョイントキャップの使用法」を参照してください。

ミツビシ

パジェロ(H3/1～H9/5)への取り付け方法

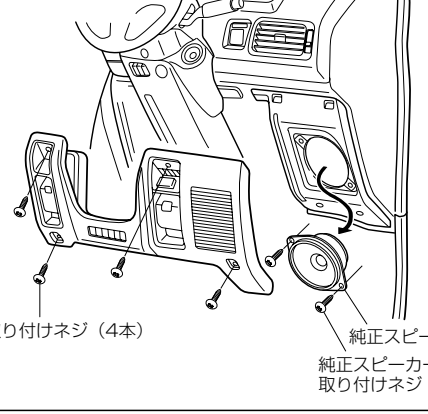
⚠注意

本製品を取り付ける場合、アンプ保護の為、フロントドアのスピーカーコネクタを外す必要があります。

1

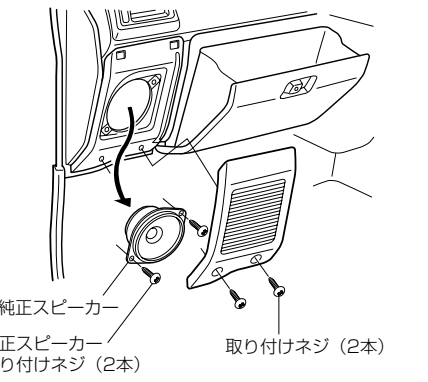
ダッシュパネルを外し、純正スピーカーを外します。

右スピーカー



2

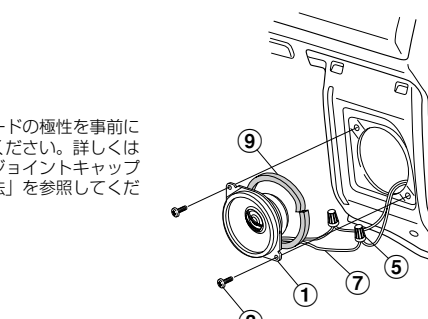
純正スピーカーを外します。



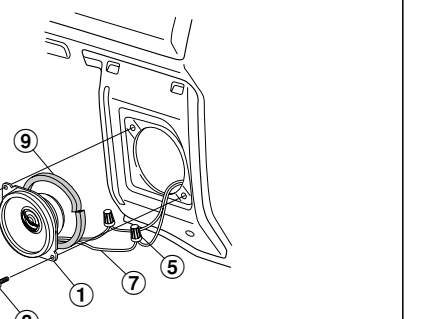
3

本スピーカーを取り付け、ダッシュパネルを元に戻します。

左スピーカー



右スピーカー



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

※車両側コードの極性を事前にお確かめください。詳しくは表面の「ジョイントキャップの使用法」を参照してください。

ミツビシ

デリカスペースギア(H6/5～H19/1)への取り付け方法

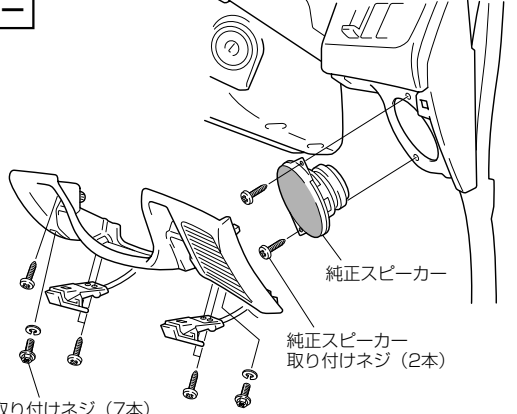
⚠注意

本製品を取り付ける場合、アンプ保護の為、フロントドアのスピーカーコネクタを外す必要があります。

1

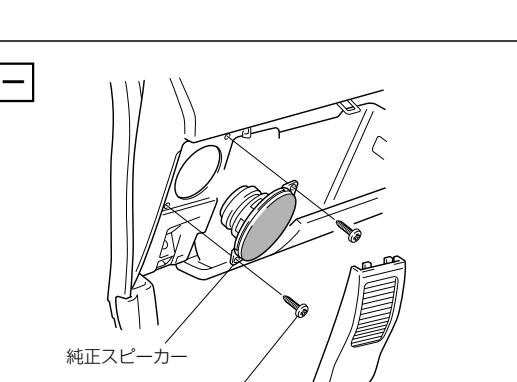
ダッシュパネルを外し、純正スピーカーを外します。

右スピーカー



2

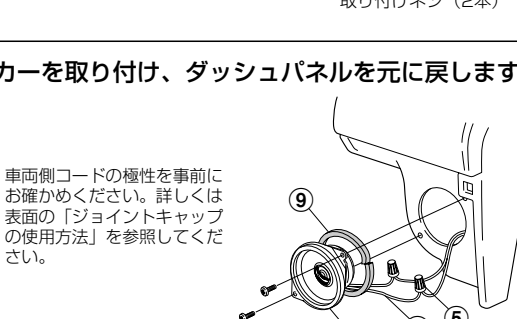
純正スピーカーを外します。



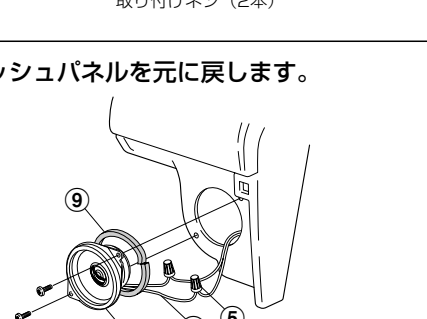
3

本スピーカーを取り付け、ダッシュパネルを元に戻します。

左スピーカー



右スピーカー



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。

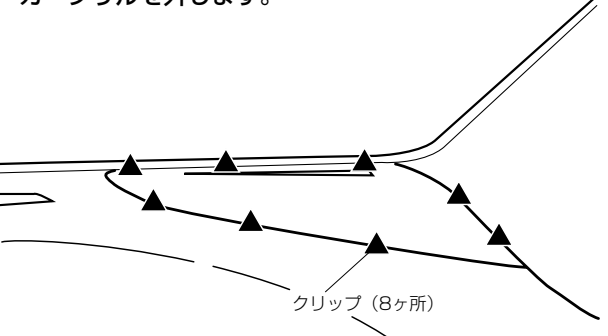
※車両側コードの極性を事前にお確かめください。詳しくは表面の「ジョイントキャップの使用法」を参照してください。

ダイハツ

MAX(H13/11～H17/12)への取り付け方法

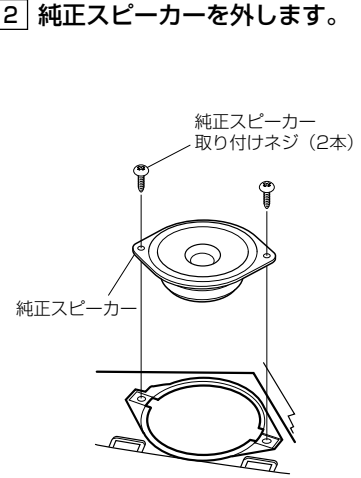
1

スピーカーグリルを外します。



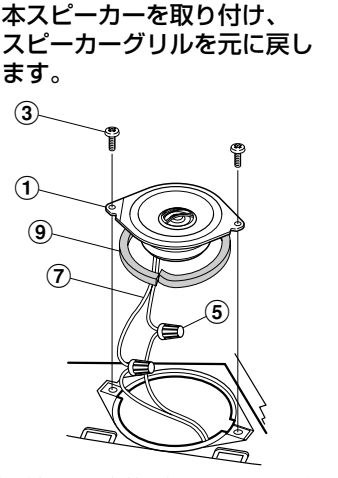
2

純正スピーカーを外します。



3

本スピーカーを取り付け、スピーカーグリルを元に戻します。



※スピーカー端子と車両ハーネス間の接続は、「2.取り付ける」の「車両側コネクタ（T型タイプ）」時の注意（平端子の極性）」を参照してください。